

我が町の願い

教育の場は田舎へ

「教育の基本は家庭にあり」と福沢諭吉翁は言う
家庭とは、豊かな山と清らかな川のほとりで
親子三代が睦まじく暮らし、
子供は祖父母を敬い、いたわることを知り、
父母は家の柱として勤勉に働き、
祖父母は豊かな知恵で家族を導く
このような中で育った子供は、心優しく、義に厚く
ああやはり教育の場は田舎にあり

厳しい受験戦争の中で、他人を蹴落とすことばかり思い
エリート意識の中で、人を思いやる心を忘れ
情を失い、経済効率だけを重んじ
いつの間にか人生の先輩を社会の片隅へ追いやり
弱い人を追い詰めて行く
ああやはり教育の場は都市にあらず

山に登れば、心の中のつまらないわだかまりが吹き消され
川に遊べば、心の中のつまらないねたみが洗い流される
土にまみれて米を作り、草をむしって野菜を作り
家族のようにして牛を育てる
だから子供たちは命の大切さをよく知っている
ああやっぱり教育の場は田舎にあり

その田舎が、静かに、秘かに消えようとしている
純粋な田舎で生活が営めなくなってきたからだ
米価の低迷、山林の収入減、畜産価格の下落等々……
農家の収入源は徐々に痩せ細ってきている
だから人口減少にも歯止めはかからない

よい国にしたいと思うなら、教育の場は田舎に
よい国にしたいと思うなら、教育の基本は家庭に
百家争鳴している国の方々に改めて具申する